

◎梅の花に添へて

岩代須賀川町 服部 貞子

丸窓のものと白梅、今日咲き初め候。北の一枝と南の
一枝とは、わけてもふりようこそ候へ。ほゝ笑みての
み、口きかず候へども、北なるは満洲の兄にと存じ、
今一二輪封じこめたるところに候。南にむきたるは、
いはずもがな、君の御許。とみれば、梅はうれしげに
ほゝ笑み候。さらばまた、うつくしのみ歌たまへや。
こは梅の心に候ぞ。かしこ。

底本：「女子文壇」第二號 明治三十八（1905）年

入力：小林 徹

公開：令和三年三月二十一日

リンク：[水野仙子ホームページ](#)